

2019年11月5日
一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

ISO/IEC JTC 1/SC 35/WG 6 の大山潤爾氏と水野由紀子氏が 「国際標準化奨励者表彰（産業技術環境局長表彰）」を受賞

10月8日に開催された、経済産業省主催「令和元年度 産業標準化事業表彰」において、ISO/IEC JTC 1/SC 35/WG 6（情報技術/ユーザインタフェース/ユーザインタフェースアクセシビリティ）の大山潤爾氏と水野由紀子氏が、以下の賞を受賞しました。

国際標準化奨励者表彰（産業技術環境局長表彰）：

国際標準化奨励者表彰は、我が国における国際標準化活動を側面から支援されており、今後とも貢献が一層期待できる若手専門家などを主な対象としています。

産業技術環境局長表彰は、我が国における国際標準化・産業標準化活動の発展、我が国の国際標準化を推進するための規格の作成等の活動に寄与しており、かつ、今後とも継続的に同分野における活躍が期待できると認められる方に対して行うことにより、我が国産業の発展に資することを目的としています。

受賞理由：

大山潤爾氏（国立研究開発法人産業技術総合研究所 情報・人間工学領域 人間拡張研究センター 主任研究員）

ISO/IEC JTC1/SC35/WG6 のエキスパートとして貢献。特に、ISO/IEC20071-23:2018（ユーザインタフェース構成要素のアクセシビリティ第23部：聴覚情報の可視化(字幕を含む)の指針)においてプロジェクトエディタとして国際規格の取りまとめに貢献。また、ISO/TC159(人間工学)/WG2(特別な配慮を必要とする人々のための人間工学)のエキスパートとして最小可読文字サイズ推定法の規格開発など高齢者障害者関連製品におけるアクセシビリティの推進に寄与。

水野由紀子氏（一般財団法人日本規格協会 システム系規格開発ユニット 主席専門職）

ISO/IEC JTC1/SC35/WG6 において、日本提案である「ビデオコンテンツにつける字幕」の国際標準の制定にエキスパートとして参画し、プロジェクトエディタを補佐。また、ISO/TC 159（人間工学）、ISO/TC 173（福祉用具）及び IEC/SyCAAL（自立生活支援）でもセクレタリなどの役職及びエキスパートを務め、高齢者障害者関連分野におけるアクセシブルデザインの標準化推進に寄与。



水野氏 田中 大山氏
専務理事

今後も JBMIA は、ご関係の皆様のご指導・ご支援を賜りながら、標準化に取り組んで参ります。

本件に関するお問い合わせ先：
JTC 1/SC 35 事務局 井上 雄二
TEL：03-6809-5010（代表）
FAX：03-3451-1770

出典：経済産業省ウェブサイト

公募開始について <https://www.meti.go.jp/press/2019/04/20190422001/20190422001.html>

受賞者発表について <https://www.meti.go.jp/press/2019/10/20191007001/20191007001.html>